



常口アトム  
(北海道札幌市)  
清河智英社長(64)

収増益となった。新たに手がけた不動産販売事業が好調で、全体の売り上げを底上げした。

不動産販売事業は、売買仲介から派生した事業で、主に賃貸住宅

円。販売実績は自社保有地1件とオフィスビル1棟。「34期となる今年は、すでに計2棟の販売見込みがある。エリアは、半導体工場

の誘致で住宅ニーズが高まる北海道千歳市や

期は15の金融機関と連携し、個人が所有する土地建物の売却案件の紹介を獲得したり、企業保有地の有効活用提案を行ったりした。ビジネスマッチングを通じた売買仲介の契約金

## 常口アトム、売上前期比111%

### 不動産販売を新たな柱に

やオフィスなどの自社物件の仕入れ販売や、

「苫小牧市」(杉本執行

は55億円に上り、前期比150%と好調だった。

2024年9月期の売り上げは103億円

と前期比111%。営業利益は6億6900万円

で同131%と増

9月期の単体の売り上げは4億9000万

円。販売実績は自社保有地1件とオフィスビル1棟

「34期となる今年は、すでに計2棟の販売見込みがある

エリアは、半導体工場

の誘致で住宅ニーズが高まる北海道千歳市や

期は15の金融機関と連携し、個人が所有する土地建物の売却案件の紹介を獲得したり、企業保有地の有効活用提案を行ったりした

ビジネスマッチングを通じた売買仲介の契約金

を伸ばす。杉本健太郎執行役員は「新たな事業の柱として、力を入

れたい」と語る。

2024年9月期の売り上げは103億円

と前期比111%。営業利益は6億6900万円

で同131%と増

いく必要がある。政令指定都市の札幌市ですら21年ごろから徐々に人口が減少している。特に、賃貸仲介市場の縮小を見据え、新たな事業を生み出し業績の維持向上につなげていく」と語った。

事業領域の拡大と並行し、既存事業の深耕りにも目を向ける。24年10月からは、これまで一つの担当部署で担ってきた推進と企画の業務を分けるなど組織体制を変更。専門性を高めて、既存事業の成長を支援していく。